



令和 2 年度第 1 回新潟支部研修会が開催されました

令和 3 年 2 月 20 日（土）午後 1:30 より新潟県立がんセンター新潟病院講堂にて第 1 回新潟支部研修会が開催されました。

今年度は、コロナの影響により思うように研修会を行うことができず、前例にない年となりましたが、何とかハイブリット開催（現地+web）として実施することができました。また、このような状況にも関わらず、60 名（現地参加 23 名、web 参加 37 名）と多くの方々にご参加頂きました。

今回は講師として、積水メディカル株式会社 東日本営業所 学術担当 須長宏行先生ならびに新潟県立がんセンター新潟病院 内科部長 石黒卓朗先生をお招きしました。



須長先生からは、教育講演「遭遇する可能性のある凝固検査の異常値から COVID-19 の血栓症まで」として web 上にて講演をして頂きました。

血管の構造と止血のステップから始まり、凝固カスケードと凝固検査の基本的な事柄を踏まえた上で、採血から

測定までの誤差要因について詳しく解説してくださいました。病態や治療を反映した異常値、分析系や採血・採血管に由来した異常値など、凝固検査では「異常値の由来」を識別できる能力が重要であると改めて実感しま



した。最後に COVID-19 による血栓症の最新情報をお話しして頂き、大変勉強になりました。

石黒先生からは、特別講演「4 スタンス理論でアンチエイジング～肩こり・腰痛にさようなら～」として実技

ありの講演をして頂きました。

人間の身体の動かし方はみな同じではないという理論のもと、自分のタイプに適した身体の使い方を知るこ



とは長く健康でいるためには大切なことであると説明しています。スポーツ界では既にフィジカルトレーニングとして用いられており、介護の場面でも安全に介助を行う役に立っているとのこと。会場でも実際に皆で身体を動かす場面もあり、また Web の方も自宅で参加し

ながら楽しく聴講できたのではないのでしょうか。大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。



最後になりますが、コロナ禍という状況でたださえお忙しい中、講師を引き受けて下さいましたお二人の先生にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。また、当

日 web にて参加された皆さま含め研修会にお集まりいただいた皆さま、実務委員にあたられた新潟支部役員
の皆さま大変お疲れさまでした。

木戸病院 鎌田

令和2年度新潟支部総会の様子

令和2年度第1回新潟支部研修会終了後、同会場にて研修会と同様（ハイブリット開催）の形で新潟支部総会が執り行われました。

味方議長進行のもと、第一号議案、第二号議案、第三号議案とも承認されました。また、今年度は役員改選年度に当たります。新潟支部役員選出委員長 高野技師より第四号議案として令和3・4年度新臨技理事および新潟支部幹事選出案が提出されました。高野技師より web 上にて推薦者名が読み上げられ、その後採決、推薦者すべてが承認されました。

4月からは新たに選出された役員での活動となります。今回、実際初めて web 開催を行ってみて気づいたこと（web 参加者における承認時の確認方法や個別意見の汲み取り方の統一した方法を明確にしていなかった点）など、web ならではの問題が浮き彫りになり次への課題となりましたが、これらは新役員に引き継ぐ形となります。ワクチン接種が始まったとはいえ、コロナ禍以前と全く同じ状況に戻ることはほとんど期待が持てません。世の中全体が既に新しい生活様式に変化していっているのはまぎれもない事実であり、私たちもその変化に対応していかなければなりません。支部研究班の活動や支部研修会、総会が次年度こういった形での開催になるかはわかりませんが、新役員の方にはこのような状況の下、これからの2年間の技師会活動を頑張ってくださいと思います。最後に、旧役員の方、2年間お疲れさまでした。

